

リスク検査を受けて、虫歯・歯周病やインプラント周囲疾患を撃退しよう！

リスク検査によって、あなたの虫歯・歯周病・インプラント周囲疾患の本当の原因を知ることができます！

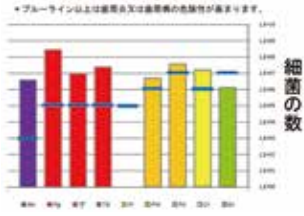
虫歯、歯周病やインプラント周囲疾患に対する従来型の検査法

菌の検査で「シーワン(C1)」、シーター(C2)「菌茎のポケットが4〜5mmありますね」と言われたことはありませんか。これらは大切な検査です。虫歯、歯周病やインプラント周囲疾患になってしまったこと(結果)が分かれます。しかしながら、原因はハッキリしません。原因が分からないまま治療を繰り返すうちに、結局菌やインプラントを抜くことを経験された方は少なくないと思います。

虫歯、歯周病やインプラント周囲疾患の根本的な原因を見出す「リスク検査」

これらの病気は、ばい菌が起すことを第3弾で述べました。リスク検査により、これらの病気の根本的な原因を知ることができます。原因菌の種類や量、これらに対するあなたの抵抗力を知ることができます。まず、患者様のお口にいる病原菌の種類や量を培養法、酵素学的方法、遺伝子

図1 細菌のDNA検査結果例

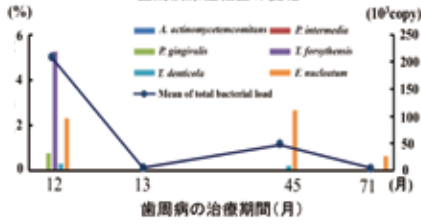


▲歯垢の中の歯周病原菌をDNA分析した例: 歯周病原菌10種類のうち9種類が検出された。左から4種類は病原性が高い菌で、リスクが極めて高いことが明らかとなった。

工学的方法で調べます。例えば、患者様から取った歯垢のDNAをフランスの専門機関で分析し、ヨーロッパの専門医の所見をもらいます(図1)。併せて、病原菌に対する抵抗力(全身の健康状態、喫煙等の習慣、食事の状態など)を調べて、あなたの虫歯、歯周病やインプラント周囲疾患の根本的な原因を知るようになります。これらを基に、これらの病気に対する予防法や治療法を私たち専門家が科学的に見出し、患者様に提案します。

虫歯、歯周病やインプラント周囲疾患はほぼ完全に予防ができ、治すことができる病気です。リスク検査を受け、あなたのカスタマイズし、アップグレードした虫

歯周病原性細菌の変化



▲歯周病原菌がリスク検査によるカスタマイズされた歯周治療によって退治された例: 治療前の多くの歯周病原菌は治療によってほとんど退治され、再発もほとんど認められない。2017年日本臨床歯周病学会で山口竜亮(らのうえ市丸歯科副院長)が報告した。

菌、歯周病やインプラント周囲疾患の予防や治療を受けられてはいかがでしょうか。ぜひ、専門家にご相談下さい。

※リスク検査は保険外診療になります。



▲リスク検査を受け、いつまでも自分の歯で食べましょう。

医療法人
らのうえ市丸歯科
院長市丸英二先生



長崎大学歯学部大学院卒業後、米国家スタンフォード大学医学部研究員を務める。歯周病に関する国際的な論文発表などを重ね、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。

TEL.0942-81-5410 住/鳥栖市蔵上2丁目187番地
URL www.10shika.jp

医療法人 らのうえ市丸歯科

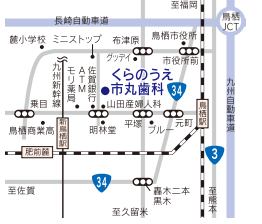


院長 市丸英二(歯学博士)
・日本歯周病学会認定 歯周病専門医・指導医
・長崎大学大学院(歯周病学)卒

副院長 山口竜亮(歯学博士)
・長崎大学大学院(歯周病学)卒



お問い合わせ・ご予約
☎0942-81-5410
鳥栖市蔵上2丁目187番地



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	◎	祝日のある週のみ診療	◎	10:00~14:00	◎	9:00~13:00	休
15:00~19:00	◎	◎	◎	休	◎	休	休



らのうえ市丸歯科 検索 http://www.10shika.jp